

GREEN RADAR

重点事業方針 A-Policy

- ・平成28年度 生産販売部 営業課事業方針
- ・平成28年度 生産販売部 きのこと課事業方針

レポート A-Reports

- ・会員会議開催
- ・牛受精卵のまとめて移植「新ETシステム」の取り組み
- ・南佐久野菜のトップシーズン到来！
～東京大田市場でトップセールス～

Vol.447

AUGUST 2016

8



御嶽海関の活躍を願い県産農畜産物を贈呈



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

営業課

平成28年度生産販売部 営業課事業方針

■平成27年度の 各品目販売経過

平成27年度各品目の販売経過は以下のとおりです。

果実では、育成前進化による企画の修正や、相場高により集荷に苦労した年となりました。生協・ギフトに特化している取り引きの幅を拡げるため、これまで取り引きを行っていなかった業態（製菓・ジューススタンド等）の獲得を推進しました。りんごの貯蔵販売やセット商品企画の拡充により、供給実績は2,811百万円で前年比116%でした。

野菜は、不安定な作柄により相場変動が大きく、直販取引のリスクが顕在化した年でした。将来を見据えた新規顧客開拓も行い、最終的に5社（漬物大手・加工業者・卸売会社）と直接契約を締結しました。また、加工キャベツの鉄コンテナでの流通や、ケール・加工用たまねぎ栽培の

普及にも取り組み供給実績は3,501百万円、前年比105%でした。

きのこは、重点実需者への営業活動強化により、周年での価格形成を図る事前企画提案と宣伝活動による売り場確保と安定供給に努めました。既存取引先が固定化するなかで、大手うどんチェーン店や関西系量販店との新規取引を開始しました。きのこセットによる新たな販路開拓にも取り組み供給実績は4,727百万円、前年比99%でした。

花きは、実需者への営業を強化し、きめ細かい商品提案と流通課題の解消に努め、供給実績は95百万円、前年比104%でした。

■平成28年度の 重点取り組み事項

平成28年度は供給高計画を145億円として、以下の重点取り組み事項を設定し、計画必達をめざします。

3. 事業所と連携した産地営業 推進（生産振興）

ニーズのあるものを営業課が産地に提案し、作っていただくことで産地デザインを構築し、総合供給産地としてのメリット最大化を図ります。

(1) 事業所生産振興担当者と一体となった産地推進の実行

① 営業課マーケティングによる新産地・新品目の提案育成を進めます。

② 事業所からJAホームページの拡大と徹底を図ります。

(2) 成功事例の共有と拡大

① 野菜担当者、一人一品目の生産振興を行います。

② 担当者の育成を通じ、新規品目の提案・栽培を進めます。

※27年度までに取り組んだ新規品目（業務用キャベツ・ヤクルトケール・タマネギなど）に加え、28年度はスイスチャード・紫はくさい・ミニトマト赤以外などを振興します。

③ 営業課事業（直販事業）への理解者を増やし事業を拡大するために、商品確保のための産地営業を強化し、事業所と一体的な推進を行います。

1. 顧客確保につながる積極的 営業展開

(1) 量販店対応

① 既存取引先との関係の見直しによる重点取引先の拡大を図ります。

② 地域密着型量販店との信頼関係構築による取扱量の拡大を図ります。



平成27年度新規提案企画「りんご詰め放題セール」に詰め寄せるお客様

③ コンビニ、都市型小型スーパーに対する営業強化を行います。

(2) 加工・業務用顧客

① 営業課を起点とした生産振興による顧客ならびに取扱数量の拡大を図ります。

② キャベツは既存産地の二層の強化を図るとともに新産地開発と専用栽培推進や流通容器の検討を進め供給拡大をめざします。

③ レタスは積極的な産地営業推進により系統品の供給強化を図ります。

④ 果実は既存取引先へ一層の営業活動を進めるとともに、提案力のある卸売市場流通も視野に入れ、新規取引ルートの開発を行います。

(3) 商品提案の充実・強化

① ターゲットとなる顧客を明確化し、顧客にマッチした商品提案を行い、取り引きの拡大を図ります。

② 世帯構成や生活スタイルの変化がもたらす需要変化に機敏に対応します。



製菓店様へ追熟ラ・フランスを提案し発売された「ラ・フランスといちごのタルト」



重点量販店バイヤーによる産地研修などにより信頼関係の構築を図る（左／レタス、右／りんご）

○平成28年度営業課事業計画

単位:千円

大品目	28 年度計画	27 年度計画	27 年度実績	前年計画対比	前年実績対比
直販果実	2,600,000	2,600,000	2,811,470	100	92
直販野菜	3,500,000	3,650,000	3,501,036	96	100
直販きのこ	5,000,000	5,250,000	4,726,781	95	106
直販花き	100,000	65,000	95,094	154	105
(直販合計)	11,200,000	11,565,000	11,134,381	97	101
加工製品	300,000	300,000	270,330	100	111
全農青果C	3,000,000	2,935,000	2,985,578	102	100
合 計	14,500,000	14,800,000	14,390,289	98	101

きのご課

平成28年度生産販売部きのご課事業方針

【平成27年度の経過】

近年のきのこ生産状況は、えのきたけ・ぶなしめじの中小規模の生産者が減少する一方、企業や大型法人等の増産により全国の流通量は増加傾向にあります。3月～8月の6ヶ月間、「需要減退期の適正生産」に取り組み、J・A・部会等の協力により成果を上げることができました。需要期は、暖冬の影響で鍋需要が大きく落ち込み、販売点数が伸び悩みました。例年以上にキャンペーンや消費宣伝会を実施し、また荷動きの改善対応と加工・業務需要を拡大したものの、期待した年末年始の価格も大きな上げ幅にはならず、新たな需要創出に向けた取り組みが課題となりました。

出 件数は依然として多く、更なる強化対策が求められています。

【平成28年度の重点取り組み事項】

1. 生産基盤維持と高品質生産
(1) 関係機関と連携し、生産コストの削減対策や技術開発に取り組みます。
2. 需要動向に沿った計画生産による生産者手取りの確保
(1) 需要減退期におけるえのきたけとぶなしめじは適正生産を実施し、安定した価格確保に努めます。
(2) 契約的取引の内容を精査し、改善に取り組みます。
3. 長野県きのこの売場を確保した有利販売
(1) 実需者への対応強化(営業力強化)と事前販売に積極的に取り組みます。
(2) 企画力・営業力等、機能ある卸売
4. 安全安心対策
(1) 異物混入対策と衛生管理の生産指導体制を強化します。
(2) 消費者目線で分かりやすい表示とトレース体制に取り組みます。
5. きのご消費拡大活動
(1) きのごの機能性と特性を生かした研究を継続し、情報を発信することで需要の創出に努めます。
(2) 食育を通して若年層へのPRを強化し、消費拡大へのきっかけを作ります。
(3) 長野県産農畜産物の総合力を生かした消費宣伝を実施します。

会社との連携強化による有利販売を実現します。

6. 購買資材事業

- (1) 供給量がタイトな米ぬかは、取引先と強調・連携し、計画的な取引引きにより数量を確保します。
- (2) 資材価格の抑制に努め、試験研究機関との連携により低コスト培地・資材等の開発を進めます。



会員会議開催

全農長野県本部は6月23日(木)に、長野中央会・各連合会通常総会との同日開催となる会員会議を開催いたしました。共済連長野会員会議も開催されました。

会議では平成27年度の事業報告と、任期満了による県本部運営委員の選任投票が行われ、原案どおり承認されました。また各連合会で「TPPから『食』と『いのち』と『くらし』」を守る特別決議」を採択いたしました。

任期満了に伴い県本部運営委員会大槻憲雄会長・芳坂栄一副会長が退任され、後任に雨宮勇J・A信州諏訪組合長が会長に、豊田実J・Aながの組合長が副会長に、長野中央会・各連合会・共済連長野運営委員会の共通正・副会長としてそれぞれ就任することも決定されました。

◆平成27年度事業報告

平成27年度の日本経済は、物価上昇や増税等による国民の実質賃金減少と個人消費の伸び悩みにより、特に地方経済は景気回復感の乏しい状況となりました。

ました。農業情勢は国内人口減による消費減、輸入農畜産物の増加、生産者の高齢化と担い手減少、TPPの大筋合意など厳しい状況が続いており、J・Aグループの組織運営の基本にかかわる法改正(28年4月施行)も行われました。

これらの情勢のもと、全農長野県本部は中期事業計画(平成25年～27年度)および中期事業ビジョンに基づき、農家組合員の営農とくらしへの貢献とJ・A経済事業の確立の観点から、①長野県農業の生産基盤と信州ブランドの確立 ②営業力強化による顧客確保と生産流通コスト削減による生産者手取りの最大化 ③J・Aとの一体化によるJ・A生活事業の競争力強化と経営収支の確立に取り組んできました。

特に営農技術員サポートセンターの設立、マーケティングに基づいた生産振興と適正生産、農畜産物のブランド強化、協同経営事業の高度化、宅配事業の再構築等を進めました。

その結果として、天候不良や降雹など気象災害もありましたが、27年度の

供給販売高・事業総利益は共に計画対比104%、税引前当期利益102%となり、県本部独自のJ・A特別還元1.8億円をはじめ、総額10.6億円を県内J・A・組合員へ還元いたしました。

なお、27年度は次期中期計画(平成28年度～30年度)の策定年にあたり、①営農支援体制の強化 ②農業所得の拡大 ③ライフラインの充実 の3点を自己改革における重点施策として定めました。

◆運営委員選任

任期満了に伴い、16名の運営委員の方が選任され、新正副会長も就任しました。任期は31年6月までの3年間。新体制は別表のとおりとなりました。

◆TPPから「食」と「いのち」と「くらし」を守る特別決議

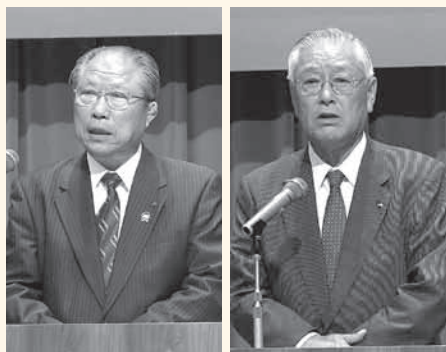
J・A長野県グループは、わが国の食糧・農業・農村を守るため、引き続き県内の広範な団体と連携して、TPPから「食」と「いのち」と「くらし」

を守る運動を展開し、批准反対運動に総力を挙げて取り組みます。

◆全農長野県本部運営委員会名簿

役職	氏名	所属J・A・役職
会長	雨宮 勇	信州諏訪 会長
副会長	豊田 実	ながの 代表理事組合長
委員	由井 和行	長野八ヶ岳 代表理事組合長
委員	井出 健	佐久浅間 代表理事組合長
委員	坂下 隆行	信州うえた 代表理事組合長
委員	御子柴茂樹	上伊那 代表理事組合長
委員	市人 みなみ	信州 代表理事組合長
委員	高橋 徳	木曾 代表理事組合長
委員	伊藤 茂	松本ハイランド 代表理事組合長
委員	千國 茂	あつみ 代表理事組合長
委員	山田 高司	大北 代表理事組合長
委員	神農 佳人	グリーン長野 代表理事組合長
委員	竹内 史朗	ちくま 代表理事組合長
委員	牧 良一	須高 代表理事組合長
委員	江口 栄光	中野市 代表理事組合長
委員	櫻沢 和美	北信州みゆき 代表理事組合長

(敬称略・J・A役職は28年7月現在)



新たに就任した雨宮勇会長(左)と豊田実副会長(右)

牛受精卵のまともな移植「新ETシステム」の取組み

牛の受精卵移植（ET）は、主に凍結受精卵や新鮮受精卵を移植する方式で進められてきましたが、JA全農ET研究所では、特殊な保存液で受精卵をチルド状態にする技術を開発し、平成21年からチルド受精卵と受胎率向上のための手法を組み合わせ、システム化した「新ETシステム」を開始しました。

全農長野本部では、平成25年度からこの「新ETシステム」への取組みを始めました。当初はJA全農ETセンター職員の応援をいただき進めてきましたが、平成26年9月からは、全農長野ETセンターの職員等で組織した「全農長野受精卵移植チーム」（全農長野ETチーム）が、このシステムを運用しています。

全農長野ETチームは平成27年度、「新ETシステム」を13回実施し、のべ26戸の酪農家で137頭の乳用牛に移植した結果、69頭が受胎しました（受胎率50・4％）。

「新ETシステム」を実施する場合、各JAが実施希望農家数と実施予定頭

数を取りまとめ、全農長野ETチームと日程を調整します。日程等が確定すると全農長野ETチームは、選畜および発情同期化（同期化）を実施する日と移植を行う日に農家に出向きます。（農家での実際の流れは図のとおり）このシステムの主なメリットは、次の事項です。

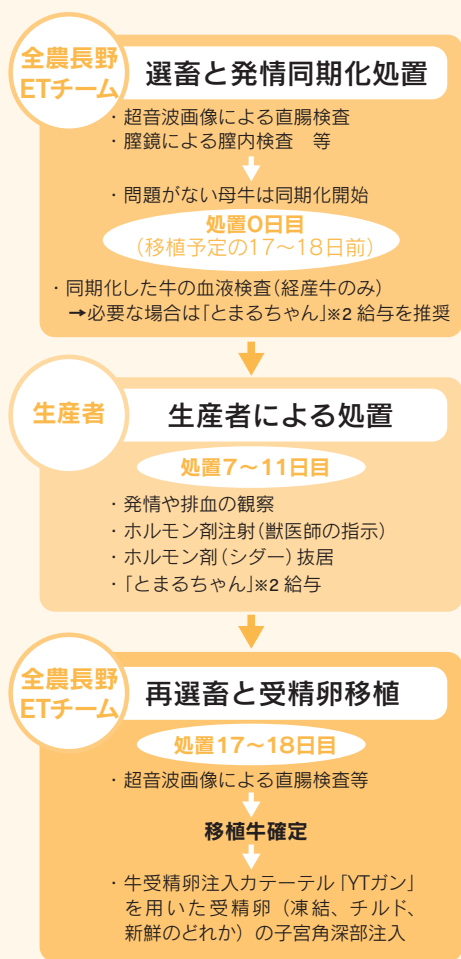
- ①同期化前と移植前に超音波診断装置などを利用して選畜するため、効率的な移植ができるとともに受胎率が向上します。
 - ②同期化する経産牛の血液検査により、各個体の栄養バランス等を把握でき、必要な場合は調整して移植するため受胎率が向上します（血液検査結果で問題があり牛群ドックに結びついた事例もあります）。
 - ③受精卵の深部注入（YTガン）の活用により受胎率が向上します。
 - ④選畜のためのリストアップにより、不受胎牛などの状況を把握でき、農家や関係者間で情報共有ができます。
- 現在、全農長野ETチームでは、チルド卵、凍結卵、新鮮卵の3種類の受

精卵を状況に応じて使い分けて進めており、平成28年度は7月8日（金）までに延べ21戸で78頭に移植をしています。また、移植する受精卵は黒毛和種受精卵が主体ですが、乳用牛の判別受精卵を移植した事例もあります。

今後、さらにチームの移植技術を上させるとともにシステムの実施回数を増やし、酪農家での子牛生産に寄与します。

▼畜産酪農部

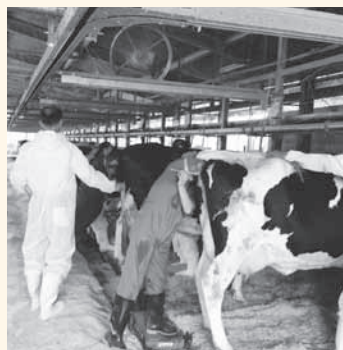
※1 発情同期化（同期化）…は発情したときに人口受精や受精卵移植を行うので、何頭かの牛が一斉に発情するようホルモン剤で調整する方法
※2 「とまるちゃん」…ビタミン・アミノ酸混合飼料



図「新ETシステム」の農家での流れ



超音波画像診断装置による直腸検査



牛受精卵の子宮角深部注入

南佐久野菜のトップシーズン到来！

～東京大田市場でトップセールス～

南佐久地区の5町村長、南佐久野菜協議会、全農長野本部は7月7日（木）、東京大田市場で南佐久野菜のトップセールスと、主力品目であるハクサイとレタスの試食宣伝を行いました。

前日は、京浜地区の主要卸売会社7社と推進会議を行い、産地の生産状況や市場の販売状況などについて活発な意見交換がされました。

7日朝、東京青果（株）と東京荏原青果（株）の競売前セレモニーでは、小海町の新井町長が「昨年は大変多くの野菜を販売していただき、ありがとうございます。ハケ岳高原では1,000m、1,400mの高い標高を活かしながら野菜を栽培しております。これから南佐久のトップシーズンに入ります。本年度も皆様のお力添えをどうかよろしくお願いいたします」と挨拶をしました。南佐久野菜協議会の由井会長（JA長野ハケ岳組合長）は「今年は天候に恵まれ、豊作基調の中、旺盛な生育となっております。本年度も新鮮で安全な野菜を届けて参りますので、どうか多くの消費者の皆様にご愛顧いただき、大量販売をお願いいたします」と今シーズンの販売をお願いしました。全農長野本部の高木本部長は「日頃より信州の野菜をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。夏本番となり南佐久地区野菜のトップシーズンを迎えます。しっかりと供給して参りますので、



- 出席者
【南佐久地区5町村長】
・小海町 新井寿一町長
・川上村 川上芳夫副村長（代理出席）
・南牧村 大村公之助村長
・南相木村 藤原則保村長
・北相木村 井出高明村長
- 【南佐久野菜協議会】
（事務局／全農長野本部）
・会長 由井和行JA長野ハケ岳組合長
・副会長 清水敏郎JA川上物産組合長
・副会長 太田久信JA川上そ菜販売組合長
【全農長野本部】
・高木幸一郎本部長

皆様にお取扱いいただき、消費拡大に取り組んでいただくようお願い申し上げます」と力を込めました。

両市場の売場には5町村のポスター、のぼり、主力の葉野菜類を展示し、川上村のマスコットキャラクター「レタ助」も登場して会場を盛り上げました。試食は「ハクサイのオイスターソース炒め」「レタスの塩昆布と「コマ油サラダ」を提供し、多くの流通関係の皆様を試食していただきました。今後もこのような機会を通じ、地域行政・JAと連携し、南佐久地区の農業発展に取り組んで参ります。

長野県産切花の安定取引に向けた商談

～平成28年度信州フラワートレードフェア開催～

全農長野県本部野菜花き課花きグループと東京・大阪・名古屋販売事務所は、県内花き生産者と消費地の実需者をつなぐ商談会「平成28年度信州フラワートレードフェア」を、東京（6月1日）、大阪（6月8日）、名古屋（5月25日）に開催しました。

産地から延べ14JA、契約的取引の維持・拡大に積極的な実需者や卸売会社18市場・23実需者が集まり、長野県産切花の安定取引に向けた商談を進めました。

事前に産地・実需者から集約した要望を基に組み合わせをした上で、新規取引の提案や既存取引の状況確認、産地フェアなど消費宣伝会の計画について、意見を交換しました。今後は、取引開始に向けた個々の取引条件の協議・調整を進めます。このフェアを開始して10年以上が経過し、重点実需者の中で長野県産を取り扱う割合も増えてきています。花きグループでは引き続き、安定販売が継続できるよつに取組みます。



5月25日に開催した名古屋会場

優秀賞1席にJA松本ハイランド (有)アグリサポート

「第60回信州肉牛松本即売会」開催

7月9日(土)、(株)長野県食肉公社で「第60回信州肉牛松本即売会」が開かれ、60名を越す生産者、JA担当者が出席しました。県内から選りすぐりの和牛40頭・交雑牛30頭が出品され、和牛では4等級以上比率が95・0%(38頭)、交雑牛では3等級以上比率が76・6%(23頭)と、日頃の飼養管理技術の高さを証明した即売会となりました。和牛は、4等級以上全頭が長野県独自のおいしさ基準を満たした「信州プレミアム牛肉」に認定されました。今回は、肉牛枝肉相場の高騰を受け、和牛では8頭が枝肉単価3,000円/kgを超える価格となり生産者にとっても大変励みになる販売結果となりました。これらの枝肉は、翌10日(日)に開催される長野県農協直販(株)枝肉即売会において、長野県A・コープ(株)をはじめとした県内外のお取引先様に販売され、この夏の商品として店頭に並びます。

○第60回信州肉牛即売会 入賞者 (敬称略)

賞	JA名	生産者	種別	性別
最優秀賞1席	松本ハイランド	南アグリランド松本	和牛	去勢
最優秀賞2席	松本ハイランド	村山博俊	和牛	去勢
優秀賞1席	洗馬	安塚初男	和牛	去勢
優秀賞2席	みなみ信州	蜂谷純	和牛	去勢
優秀賞3席	佐久浅間	高塚賢一	交雑種	去勢
優良賞(順不同)	みなみ信州	岡田敦子	和牛	去勢
〃	塩尻市	竹淵洋平	和牛	去勢
〃	松本ハイランド	清水達也	和牛	雌
〃	佐久浅間	高塚賢一	交雑種	雌
〃	松本ハイランド	小林和義	交雑種	雌

【即売会の成績】

和牛去勢	平均枝重	527.5kg	平均単価	2,846円
和牛雌	平均枝重	445.2kg	平均単価	2,636円
交雑種去勢	平均枝重	550.7kg	平均単価	1,648円
交雑種雌	平均枝重	494.9kg	平均単価	1,639円



枝肉を確認している様子

関島和人氏の仔山羊が雌の部・雄の部とも特別優秀賞を受賞

「第67回下伊那仔山羊市場」

JAみなみ信州、同山羊役員会、JA全農長野は7月7日(木)、飯田市の三尋石集畜場で「第67回下伊那仔山羊市場」を開催しました。上場頭数は38頭(メス30頭、オス8頭)で、全頭落札され、平均価格(税込)は94,301円で、昨年の市場と比べて3割上昇しました。せり前に開催した共進会には、メス11頭、オス8頭が出品され、審査の結果、特別優秀賞には雄の部、雌の部ともに飯田市の関島和人氏の仔山羊が選出されました。中でも県知事賞を受賞した関島さんの雄仔山羊は、四肢が力強く、体格のバランスが良いことが評価されました。



出品仔山羊の審査

入賞者(敬称略)		
雄の部	雌の部	特別優秀賞
関島和人	関島和人	優秀賞
菅野紀明	城田政治	優良賞
	小林俊夫	
	城田政治	

がんばれ！御嶽海関

「長野県産農畜産物を贈呈」

全農長野県本部とJA木曽は7月7日(木)、御嶽海関の名古屋場所での活躍を願い、御嶽海関と所属する出羽海部屋に長野県産農畜産物を贈呈しました。

全農長野県本部の雨宮勇運営委員会会長、JA木曽の高橋徳組合長、全農長野県本部の小林哲男副本部長が、犬山市「善光寺」内の出羽海部屋宿舎を訪れ、信州和牛(木曽牛)、御嶽はくさい、御嶽しめじ、キャベツ、飲むヨーグルト、たまご等を出羽海親方と御嶽海関に贈呈しました。当県本部とJA木曽は、これに先立ち6月24日(金)にも信州ポークや県産野菜を贈りました。

御嶽海関は「毎回、農畜産物をいただき感謝しています。地元の応援に心えられるよう、勝ち星を一つでも多く重ねたい」と決意を述べました。当県本部は今年度、各場所前に県産農畜産物を贈り、御嶽海関を応援しています。



贈呈品の目録を読み上げる雨宮会長(中)

グループ会社が定時株主総会・通常総会を開催

全農長野県本部のグループ会社ならびに(一社)長野県農村工業研究所の定時株主総会・通常総会が開催されました。平成28年度の常勤取締役・監査役は次のとおりです。

組織名		役職		氏名
株式会社全農長野計算センター	代表取締役社長	春日俊朗		
株式会社JAアグリエール長野	代表取締役社長	宮澤正俊		
株式会社マイバル長野	代表取締役社長	石合雅志		
	代表取締役	脇坂光洋		
	代表取締役社長	押田光義		
	代表取締役	高田学		
	代表取締役(コンプライアンス推進室・品質保証室・管理部・生産部統括)	依田秀樹		
	代表取締役(企画開発部・鶏卵部・宅配部・食品部統括)	八木栄一		
	代表取締役(鶏卵部長、宅配部担当)	山本幸一		
	代表取締役(企画開発部長、食品部担当)	篠原秀幸		
	代表取締役(品質保証室長)	藤澤喜久雄		
	代表取締役	風間勇一		
	代表取締役	滝沢英俊		
	代表取締役	小平良一		
	代表取締役	傳田修一		
	代表取締役	萩原学		
	代表取締役	横山勝治		
	代表取締役	内田正俊		
	代表取締役	藤原光治		
	代表取締役	土屋幹宏		
	代表取締役	滝沢新吾		
	代表取締役	柳澤治男		
	代表取締役	兼澤隆		
	代表取締役	関郁雄		
	代表取締役	鈴木春夫		
	代表取締役	吉川浩		
	代表取締役	清野昭宏		
	代表取締役	西澤賢一		

8月の動き▶

生産販売企画課	実施中 ～8月31日(水)	JA全農長野with JA松本ハイランド 「信州農産物でGET！ キャンペーン」
酪農課	実施中 ～8月31日(水)	農協牛乳 「真田キャンペーン夏の陣」
畜産課	8月4日(木)	8月期中央家畜市場

長野米のCM放映中！
新しい長野米のテレビCMを放映中です。

〈ながの米のうた〉篇
放映期間／7月23日～9月末まで
テレビ局／abn長野朝日放送、TSBテレビ信州
※放映時間帯は不定期です



〈生産者 この手で〉篇
放映期間／8月1日～3月末まで
テレビ局／abn長野朝日放送「報道ステーション」内
21:54～23:10



8月のテレビ・ラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容（予定）
8/2(水) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」	モモ（あかつき）
8/2(水) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	学校栄養士の牧場見学体験の様子
8/9(水) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」	ブルーン
8/9(水) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	牛乳・乳製品料理コンクール表彰式の様子
8/16(水) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」	巨峰
8/16(水) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	牛乳・乳製品料理コンクール県知事賞受賞レシピの紹介
8/23(水) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」	サンツがる
8/23(水) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	牛乳クイズ
8/26(金) 18:00	FM長野	346GR00VE FRIDAY内「JAインフォメーション」	野菜花き課
8/30(水) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」	フラワーショー
8/30(水) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	長野県乳質共励会表彰式の様子
8/1、8、15、22、29（月） 17:30	FM長野	JA全農長野「発見！ながののゲンキ！～みらいのミカタ」	トルコギキョウ

赤ちゃんが生まれて初めてのことといえば、泣き声をあげることで、実はその泣き声は音がほぼ決まっているんだそうです。それはドレミの「ミ」の音。もちろん世界というか人類共通の赤ちゃんの泣き声の音で、体の構造上、だいたいこの音しか出せない：というのが本当のところなんだそうです。ちなみにオーケストラのコンサート前など、全員が音合わせをするときもこの「ミ」の音を使っただとか。

先日我が家のご近所で赤ちゃんが生まれました。元気な男の子で、そのお宅では4人目の赤ちゃん誕生となりました。この少子化の世の中で、思わず「素晴らしい！」とエールを送りたくなる出来事で、雑学ですがちょっと赤ちゃんネタを書いてみたくなった次第です。

編集後記

JA全農長野の事業現況▶

平成28年度6月末部門別実績表 (単位:百万円,%)				
部門	区分	実績	計画比	前年比
米	穀	4,141	162	107
果	実	796	126	123
野菜花き		13,613	142	109
野菜種苗センター		74	100	99
きのこ		3,795	106	101
営業		2,121	109	110
生産販売部計		24,542	133	108
包装資材		1,656	98	101
生産資材		3,503	95	90
農業機械		2,096	114	108
施設住宅		1,535	175	166
生産購買部計		8,791	109	105
畜産		3,606	128	110
三岳牧場		70	106	125
SPF繁殖センター		73	103	117
酪農		4,679	107	105
ハケ岳牧場		76	98	108
畜産酪農部計		8,504	115	108
燃料・ホームエネルギー		4,918	92	85
SS協同経営		2,219	80	83
生活		3,319	101	96
生活部計		10,456	92	88
長野県本部計		52,293	115	103

(内部販売高含む)

新採用職員紹介

【北信事業所 生産販売課 中島 聡太】
お世話になります。北信事業所生産販売課の中島聡太と申します。出身は南佐久郡の川上村です。北信事業所ではきのこを担当しております。まだまだきのこについてわからないところも多く、ご迷惑をお掛けしているところも多々ありますが、早く長野県の農業に貢献できるよう努力して参りますので、よろしくお願いします。



好きなきのこ料理は、えのきの天ぷらです

【中信事業所 営農資材課 田中 出】
こんにちは！今年度より入会いたしました、中信事業所営農資材課の田中出と申します。営農資材課の中でも包装資材と農業機械を担当しています。日々勉強の毎日ですが、周りの諸先輩方に優しく、本当に優しくご指導いただいています。頼りになる先輩方のような職員になれるよう、がんばります！よろしくお願いいたします。



農機フェスタではスタンプラリーの賞品係でした

A-Board

JA全農長野withJA松本ハイランド
信州農産物でGET！
キャンペーン

全農長野県本部がスポンサーを務める、
サッカーJ2松本山雅FCの応援キャンペーンを実施中です。

【信州産農畜産物を食べてGET!】

農畜産物パッケージについている「信州三ツ山マーク」「長野三ツ山マーク」を3枚一口、またはJA松本ハイランド産スイカシール1枚一口をハガキに貼って応募していただくと、抽選で10月8日ホームゲームVIP席招待（5組10名様）などが当たります。

【アンケートに答えてGET!】

全農長野県本部ウェブサイトの専用フォームからアンケートに回答していただくと、抽選でJA松本ハイランド産ぶどうセット、JA松本ハイランド産コシヒカリなどが当たります。



←裏表紙をご覧ください！

詳しくは **JA全農長野 農産物でGET!** 検索  皆様からの応募をお待ちしています！

JA全農長野は、松本山雅FCを応援しています。



JA全農長野 with JA松本ハイランド

信州農産物でGET!キャンペーン



2016 明治安田生命 J2リーグ [第35節]

10月8日(土) 時間未定

松本山雅FC vs ファジアーノ岡山

信州産農畜産物を食べてGET!

はがきでご応募ください。

- ①VIP席ペア観戦ご招待……………5組10名様
- ②ハーフタイムピッチ回遊イベント参加券……………20名様
- ③選手サインボール……………1名様
- ④長野県産新米10kg……………5名様

期間中 信州 長野 マーク合計3枚、またはスイカシール(玉orカット)

1枚を集めてVIP席(ペア)をGETしよう!

応募方法

- 信州 長野 「信州三ツ山マーク」「長野三ツ山マーク」 JA松本ハイランド産スイカシール(玉orカット)が応募対象となります。
- 果実・野菜・きのこ・米などの農畜産物パッケージについている「信州三ツ山マーク」「長野三ツ山マーク」合計3枚、またはJA松本ハイランド産スイカシール(玉orカット)1枚を1口として、専用応募はがきまたは郵便はがきにテープ等で貼り、ご住所、お名前、年齢、電話番号、ご希望賞品、ご利用店名を明記の上ご応募ください。
- 専用応募はがきをご使用の場合、52円切手をお貼りください。
- はがき1枚につき1口の応募とさせていただきます。
- 賞品の発送は日本国内に限らせていただきます。
- ご応募いただいたはがきは返却できません。
- 自然災害等の不可抗力により賞品の内容を変更させていただく場合があります。



アンケートに答えてGET!

JA全農長野ウェブサイト専用フォームよりご応募ください。

- ①JA松本ハイランド産ぶどうセット……………3名様
- ②JA松本ハイランド産コシヒカリ5kg……………5名様
- ③信州の花アレンジメント……………5名様
- ④信州きのこセット……………10名様

「専用応募はがきのダウンロード」
「ウェブサイト専用フォーム」は、こちらから!▶
<http://www.nn.zennoh.or.jp>



応募締切

平成28年8月31日(水) 当日消印有効

当選発表

- 期間終了後に厳選な抽選を実施し、当選者を決定いたします。
- 当選発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
- 当選に関するお問い合わせには応じかねます。
- 必要事項の記入もれ、ご不在などにより賞品のお届けができない場合は、当選を無効とさせていただきます。

個人情報の取扱いについて

- 応募に際しいたいただいた個人情報は、賞品の抽選・発送および個人を特定としない統計情報として利用させていただきます。
- お客様の個人情報をお客様の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提示することはいたしません。ただし法令により開示を求められた場合を除きます。



ながの ギンキ
みらいのミカタ
JA全農長野



〒380-8614
長野県長野市大字南長野北石堂町1177-3
TEL.026-236-3572
信州農産物でGET! 係



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

JA全農長野ホームページ……………<http://www.nn.zennoh.or.jp>

インターネットで産地直送「JAタウン」……………<http://www.ja-town.com>

